

# 20171101 農園収穫

5月に植えたさつまいもを収穫する日がやってきました。

まずは、マルチはがしです。5・6年生は鎌でつるを切り、1～4年生が巻き取ります。巻けば巻くほど重くなるおいものつるを、縦割り班のみんなで力を合わせて巻きました。そのときに、マルチの黒いビニルの切れ端が残らないように丁寧に取り除いて土を落とし、ゴミ袋にまとめました。

そして、いよいよおいも掘りです。地面に残ったつるを頼りにおいもを探します。スコップやシャベルで土を掘り、先端が見つかると、おいもを傷つけないように注意して周りを掘ります。子供たちの振り返りを讀むと、「引っ張りすぎて切れたおいももあったけど、頑張って抜いた。」とか、「みんなで抜いたら、大きなおいもも抜けた。」など、仕事の仕方を考えて活動したり、協力して作業したりしていたことが、よく分かりました。

掘り上げたおいもを、リヤカーや一輪車に載せて家庭科室外のベランダに運ぶのは、栽培委員会の児童です。何回も往復して、運びました。

みんなで力を合わせて収穫したおいも。何人もの振り返りに「おいしくなっていたらいいな。」と書いてありました。おいもを食べる会が、もう待ち遠しいです。



# 20171114 おいもを食べる会

子供たちが楽しみにしていた、おいもを食べる会の日になりました。

先日の収穫の後、さつまいもの水洗いをしました。一人1本ずつ洗えるように、収穫したいもを選別したのは、栽培委員会の児童です。それを各学級ごとに洗いました。「手でごしごしと洗いました。紫色になるまで頑張りました。」と振り返っていた1年生のように、みんな丁寧に洗ってくれました。

今日は、6年生が茹でてくれました。1本1本のいもの状態をよく見て切ったり、手順書を確認しながら茹でたりして調理してくれました。いもの味がよく分かるように、塩や砂糖などの味付けをせずに茹でました。

体育館に全学年集まり、児童集会が始まりました。進行は栽培委員会の児童です。スクリーンに映し出される画面を見ながら話を聞いたりクイズをしたりして、学校農園で取り組んできたことを振り返りました。

そして、会食です。床にブルーシートを敷き、家庭科室からいもの鍋を運んできて、準備完了です。縦割り班ごとに円座に座り、元気な声で「いただきます」のあいさつをしました。「甘い」とか「おいしい」の声、どの班からも上がりました。

大地の恵みを味わいながら、収穫の喜びをみんなで確かめ合った「おいもを食べる会」になりました。

